

【保護者アンケートについて】

- ・保護者だけでなく、地域との関わりが求められている。地域人材によるボランティア活動や生徒や教員が積極的に地域に出て行くことも重要である。絵画展、書初め展等で公民館や文化センターの活用についても検討する必要がある。
- ・特別支援教育について、保護者の関心が薄いことが考えられるため、行事や取組、交流教育についてアピールする必要がある。
- ・教師の授業改善について、保護者は教育に関する関心が高いため、授業に関しては質の高さが求められる。コロナ対策という観点だけでなく、オンライン授業に関する研修に努めることが求められる。
- ・保護者からの肯定評価が84%～96%であり、校長始め教員の不断の努力が保護者に確実に届いている。引き続き、生徒への教育等に鋭意努力してほしい。
- ・保護者は学校便り等を通じて情報を受け取っており、保護者の満足度は高いようである。また、学校の目標・方針を保護者としっかり共有できていることは素晴らしい。

【生徒アンケートについて】

- ・評価結果が良好なことから、日常における教員と生徒との良好な人間関係が伺える。
- ・わかりやすい授業について、教員の自己満足に終わることなく、生徒の声に耳を傾け、謙虚な気持ちで授業改善していくことが必要である。
- ・基本的な生活習慣はできているが、勉強が少し苦手であるという生徒の実態がみえてきた。
- ・生徒達が学校生活を楽しんでいることが伝わってくる。掃除などの生活習慣を意識しながら、授業、部活動、行事にも積極的に参加したいという意欲を感じる。

【教職員アンケートについて】

- ・職員のビジョン、パッション、ミッションを忘れることなく、生徒と一緒に学校行事、学年行事に取り組んでほしい。
- ・肯定評価が高いことから、職員も一丸となって取り組んでいることが伺われ、安心している。
- ・生徒に親身に接している事例を保護者から聞いていることから学校に対する信頼に結びついていると考える。

【今後に向けて】

- ・地域との関わりやキャリア教育の在り方が問われている。どうすれば実現できるのかという視点で検討してほしい。
- ・コロナ禍における対応について、家庭・保護者との連携がますます重要になってくる。
- ・諸活動がままならない現在、生徒のストレス発散の場が必要となる。教育相談体制の強化・見直しも必要となる。
- ・特別支援教育及び授業について、さらに改善していくことで保護者の方との信頼関係もさらに深まると考える。